

## 「アミノエリア neo」と「アミノエリア・プレミアム」の新型コロナウイルス変異株に対する不活化効果について

世界で開発されて製造されている新型コロナウイルスのワクチンは、昨年春にヨーロッパに出現した新型コロナウイルスの、感染と病原性を担う S タンパクを抗原にして作られています。日本でもこのヨーロッパ型のウイルスが広く分布しているので、ファイザー製薬や英国のアストラゼネカで製造されている現行のワクチンは、日本国内でも有効と考えられています。今、色々な国に出現している変異ウイルスは、ほんのわずかですがヨーロッパ型ウイルスの S タンパクに変化が生じています。

ワクチンの効果とは、ワクチンを接種することによって体内でできた抗体が、侵入してきた新型コロナウイルスの S タンパクに結合して、新型コロナウイルスの感染力を消失させることによって、体内に侵入してきた感染力のあるウイルスを体内から追い出すことによって、発病を防ぎ、発病しても重症化を阻止します。

世界各国で生じている変異株は、ヨーロッパ型ウイルスの S タンパクにほんのわずか変化が生じたものです。そのため、ワクチン接種によって体内で作られた抗体と変異株 S タンパクとの結合力が弱くなり、つまり鍵と鍵穴が完全には合わなくなり、ワクチン効果が弱くなってしまうことが心配されているのです。ワクチン効果には繊細なところがあります。まだ詳しくは調べられていませんが、今のところ、世界で生じている変異株の変異の幅が小さく、変異株にも現行のワクチンは効果があると考えられています。しかし、近い将来、変異がさらに進めば、新しいワクチンを開発する必要が出てくるのは間違いないことです。ですから、早く消毒薬によりウイルスを消滅させる必要があります。

「アミノエリア neo」と「アミノエリア・プレミアム」は、新型コロナウイルス粒子の表面の S タンパクを含む全てのタンパクや脂質全体を変性させてしまい、ウイルスの感染力を消失させるものです。ワクチンとは全く違うメカニズムの効果を持っています。従って、S タンパクの一部に若干の変化が生じて、ウイルスを不活化する効果には何の影響も出ません。これまで猛威を奮っている新型コロナウイルスにも、そして変異株にも同じように「アミノエリア neo」と「アミノエリア・プレミアム」は効果を顕します。どのような変異株が今後生じて「アミノエリア neo」と「アミノエリア・プレミアム」の効果が変わることはありません。

2021年3月12日

鳥取大学名誉教授 獣医学博士 大槻公一